

原子力災害を乗り越える

- 放射線量の測定・公表する
 - モニタリングマップ作成事業業務 ・ 9,396万円
 - 環境放射線モニタリング業務 ・ ・ ・ 5,994万円
- 安全な飲料水を確保する
 - 飲料水安全確保対策事業 ・ ・ ・ ・ 2億5,329万円
- 村復興のシンボルへ
 - 交流センター建替事業 ・ ・ ・ ・ 4億9,215万円
 - 道の駅「までい館」整備事業 ・ ・ ・ 3,552万円



までいブランドを再生する

- 営農再開を支援する
 - 被災地域農業復興総合支援事業 ・ ・ ・ 3億75万円
- 除染後農地の保全、実証栽培などを支援する
 - 福島県営農再開支援事業 ・ ・ ・ ・ 1億5,050万円
 - 農地等維持管理事業 ・ ・ ・ ・ 6,584万円
- 村内宿泊施設の再開へ
 - 宿泊体験館きこり修繕整備事業 ・ 1億4,799万円



飯舘村の財政状況指標

平成28年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による村の財政状況を公表します。

平成28年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。このことから、本村の財政状況は健全な状態にありますが、引き続き、適正な財政運営に努めます。

健全化判断比率	早期健全化基準 ※基準を下回るほど健全	飯舘村の財政状況
一般会計での赤字の程度 (実質赤字比率)	15%	算定なし
全会計での赤字の程度 (連結実質赤字比率)	20%	算定なし
財源の中で借金返済額の占める割合 (実質公債費比率)	25%	6.4%
全会計を対象に、一般会計などが将来負担する借金の財政規模に対する割合 (将来負担比率)	350%	算定なし

復興を目指す歩み

～平成28年度に実施した主な施策～

平成28年度一般会計決算額の中で、復旧・復興事業に要した歳出総額は70億9330万円で歳出全体の約7割を占めました。

平成28年度に村が行った主な施策について、紹介します。

生命(いのち)を守る

- 健康を守る
 - 予防接種・各種健診事業 ・ ・ ・ ・ 5,176万円
 - 総合診療所(いいたてクリニック)運営事業
・ ・ ・ ・ ・ 2,275万円
 - 仮設住宅入居高齢者等健康管理業務 ・ ・ 536万円
 - 緊急通報体制整備事業 ・ ・ ・ ・ 103万円
 - 内部被ばく検査事業 ・ ・ ・ ・ 78万円
- 子どもの医療費を支援する
 - 乳幼児医療費助成事業 ・ ・ ・ ・ 475万円



子どもたちの未来をつくる

- 避難先での子育てを支える
 - 被災児童生徒等就学支援費 ・ ・ ・ ・ 3,145万円
 - 子育て支援事業 ・ ・ ・ ・ 995万円
 - 妊婦健康診査・相談事業 ・ ・ ・ ・ 581万円
- 中学生の学力向上を目指す
 - 村塾事業 ・ ・ ・ ・ 68万円
- 子ども達に多様な経験を
 - 沖縄までいの旅・カナダ未来への翼 ・ 1,819万円



人と人がつながる

- 村民同士のつながりを維持する
 - 地域づくり事業 ・ ・ ・ ・ 1,359万円
 - 敬老会 ・ ・ ・ ・ 606万円
 - ふれあい集会実行委員会補助金 ・ ・ ・ 570万円
 - 老人クラブ活動支援事業 ・ ・ ・ ・ 112万円
- 避難先でのつながりを支える
 - 自治会支援事業補助金 ・ ・ ・ ・ 1,222万円

